

隣接住戸への開口衝撃音

出入口扉、窓、室内の扉や引戸、ふすま・障子の開閉時に戸当たり部で発生する振動によるもので、床衝撃音と同様に建物が直接衝撃された時に、隣戸あるいは近接住戸内に放射される音を開口衝撃音と呼んでいます。これらの発生音を低減させるための積極的な技術開発はなされていないようですが、現在では扉にドアーチェッカーを取り付けたり、扉の剛性を増す、あるいは戸当たり部分にゴムなどの緩衝材を取り付けるなどの方法が一般的です。しかし、今後集合住宅においては音響障害として顕在化してくる傾向にあります。

図-14に示したものは、台所を中心とした時の開口衝撃音の直下階の居間で測定したものです。よく聞こえます。

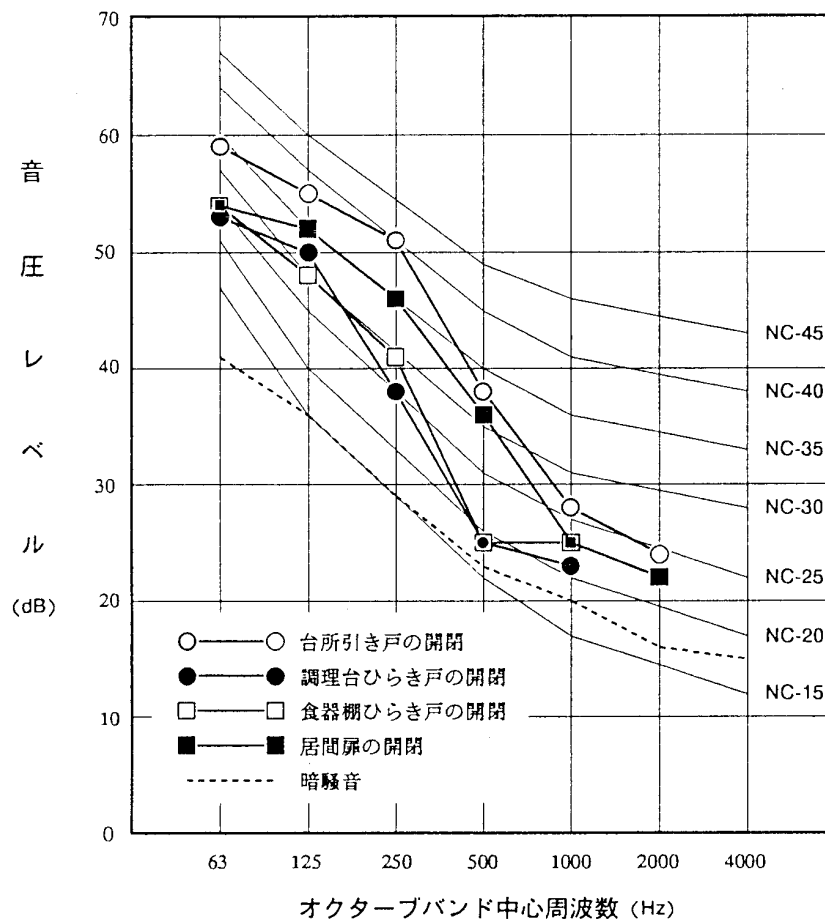


図-14 居間を受音室とする実音源による衝撃音測定結果